

event

ジュニアフェローシンポジウム を開催しました

国連大学 (UNU) と国連大学協力会 (jFUNDU) は、昨年12月14日 (木) と15日 (金) の2日間にわたり、「ジュニアフェローシンポジウム 開発、環境と平和—未来へ向けての取組み」を開催しました。

これは、UNU が実施する各種の能力育成コース (裏面をご参照ください) を終了し、現在、その成果を生かしながら世界各地で活動している人たちを対象として、さらなるブラッシュアップを行うことを目的に実施されたものです。

参加者はボツワナ、カメルーン、フィリピン、ブラジルなど、世界18カ国から来日した外国人参加者を含めて74名。学生や大学教授、政府関係者、民間企業勤務者、ジャーナリスト等、多彩な面々が東京・青山のUNハウスに集合しました。

シンポジウムはjFUNDU 矢嶋英敏会長とUNU ハンス・ファン・ヒンケル学長の挨拶を皮切りに、JICA 理事長緒方貞子氏 (元国連難民高等弁務官) が「開発と平和」というテーマで基調講演。自身の経験を交えて「人間の安全保障」の重要性とその方途としての開発のあり方などについて取り上げ、語り終えると参加者からは緒方氏に積極的に質問が寄せられました。



基調講演を行う緒方貞子氏

また吉川弘之 jFUNDU 理事長は、平和実現のための科学の役割と国連大学の使命を述べ、「UNU 修了生が担うべきものは大きい」と強調しました。

■ 貴重な問題提起に議論が白熱

「ポスターセッション」では、参加者全員が自作のポスターによってUNUで学んだことや、現在取り組んでいる活動を紹介。一般来場者の方々も、自らの関心あるテーマを取り扱ったポスターの前に足を運んで、作成者の説明に聞き入る姿が見られました。

「UNUで何を学び、今何をし、これから何をするつもりか」と題したセッションでは2日間にわたり、「開発」、「環境」、「平和」の3つのテーマごとに、参加者のプレゼンテーションとそれに基づく討論が行われました。



ポスターセッションで説明に聞き入る

医師のステラ・ムワタさんは、タンザニアの辺地の村々を周りながら、劣悪な環境の中でHIVウィルスに苦しむ子どもたちの医療と福祉に組織的に取り組んでいる現状を

報告。

また、国立大学職員として勤務する小嶋薫さんは、世界の平和構築のためには教育システムの充実が何よりも重要であると訴えるなど、プレゼンターの貴重な問題提起に議場では次々と手が指しあがり、熱のこもった質疑が繰り広げられました。



参加者によるプレゼンテーション

■ 地球規模の課題解決へ貢献を誓う

シンポジウムの総括として行われた2日目のパネルディスカッション。「開発、環境、平和：私達はどのように取り組むべきか」として、パネリストと参加者により、今地球上に生起している具体的な問題や事例を取り上げたうえで議論を展開。参加者各人があらためて地球規模の課題解決に取り組む決意を新たにしました。

■ 同窓会の設立も

14日の夕刻に開催されたレセプションパーティーでは、関係者とともに各国大使館員やjFUNDU賛助会員も交えて約130名余りが出席しました。



来賓の佐藤禎一前ユネスコ全権大使が「皆さんの今後の活躍に期待します」と挨拶。歌やピアノ演奏のアトラクションの中、参加者同士が親しく交流を深めました。パーティーの終盤には研修修了生同士が今後も積極的に情報交換をしようと同窓会の設立が提案され、盛大な拍手の中で了承されました。

海外からの参加者の出身国 (欧州) アイスランド/イギリス/ドイツ/フランス/ルクセンブルク/ロシア (アフリカ) カメルーン/タンザニア/ボツワナ (中南米) アルゼンチン/ブラジル/トリニダード・トバゴ (アジア) インド/フィリピン (北米) アメリカ/カナダ (大洋州) オーストラリア

○ 海外からの参加者の出身国

- (欧州) アイスランド/イギリス/ドイツ/フランス/ルクセンブルク/ロシア
- (アフリカ) カメルーン/タンザニア/ボツワナ
- (中南米) アルゼンチン/ブラジル/トリニダード・トバゴ
- (アジア) インド/フィリピン
- (北米) アメリカ/カナダ
- (大洋州) オーストラリア



修了証書を授与するヒンケルUNU学長と佐藤國雄 jFUNDU 専務理事



UNU 本部が実施する 能力育成コース

UNU の主要な役割のひとつである能力育成。内外の優れた教育機関との連携により、世界各地で多様な研修活動が実施されていますが、特に UNU 本部が中心となって実施している能力育成コースを紹介します。

■ 国際講座

将来、国連機関や多国籍企業、国際的 NGO、さらに各国外交機関など、公と民間の両分野で国際的職務に就くことを希望する大学院生と、大卒資格を持つ社会人、約 60 名の参加者を募り、約 6 週間にわたって開催する研修講座。グローバルな問題を理論と実践の両面から考察します。

2007 年度は、次の 4 科目で構成。

- ① Armed Conflict and Peacebuilding
- ② Environmental Change: Managing Risks
- ③ Globalization and the Multilateral System
- ④ International Trade and Development

講師は、国連大学内外の研究者および専門実務家がチームを組んで担当します。専門実務家はほとんどが国連諸機関の専門職員で、受講生はそうした講師から直接指導を受け、また国連大学学術部門の研究者がカウンセラーとして、助言・指導を行います。

UNU では、東京都内居住者を除くすべての受講者のために低料金の宿泊施設を確保、また途上国出身者の一部には奨学金を支給しています。

2007 年度は 5 月 21 日～6 月 29 日に行われます。

■ グローバルセミナー

国連が取り組む地球規模の諸問題についての認識と理解を深めることを目的に、大学生・大学院生（留学生も含む）と若い社会人を対象に 8 月から 12 月にかけて行われるセミナー。「テロリズムー地球規模の挑戦」や「漂流する地球秩序と平和構築の挑戦」など、国連との関係に焦点を合わせた国際問題をテーマとしています。



UNU を中心に各地の自治体および大学との協力で 1985 年から日本全国で開催されていますが、2003 年には韓国ソウル市、2004 年より米国ハワイも新たに開催地に加えています。

各地域で参加者 50 ～ 100 人が 4 ～ 5 日間のセミナー期間中、寝食を共にしながら講師陣による講義と質疑応答、参加者同士の討論と意見交換、さらにグループ発表を通して、知識と分析力を深め、議論の進め方を学びます。講師は内外の国連など国際機関の職員、政策立案者、学者、実務家が担当します。

このセミナーでは、充実した講義内容に加えて、参加者同士が大学の壁を越えて交流し、さらに国籍の違う講師や学生が国際的な問題を討議しあうことで、異なる立場や意見を理解し、幅広い視野を培えることが魅力となっています。

2006 年度は、下記の地域・テーマで開催されました。

- 北海道セッションー小樽市
「北東アジアの経済発展と世界への貢献ー経済のブロック化とグローバル化ー」
- 東北セッションー弘前市
「地球「グローブ」の危機管理：直面する危機への

対処と長期的リスクマネジメントへの展望」

- 金沢セッションー金沢市
「地球環境と人間社会ー国連・国家・市民の役割」
- 湘南セッションー葉山町
「持続可能な平和構築と開発ー新たなグローバル・アジェンダ」
- 神戸・淡路セッションー神戸市淡路島
「漂流する地球秩序と平和構築の挑戦」
- 島根・山口セッションー山口市
「テロリズムー地球規模の挑戦」
- 沖縄セッションー宜野湾市
「グローバル化の光と影ー私たちは他者とどうかかわるのか」
- 済州セッションー韓国・済州市
「Promoting Cultural Diversity in a Globalized World」

2007 年度のスケジュール・実施テーマについては、決定次第 UNU および jfUNU のホームページでご案内します。

■ 大学院共同講座

UNU が日本の 10 大学（青山学院大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、上智大学、中央大学、筑波大学、東京外国語大学、東京大学、日本大学、早稲田大学）と共同で毎年 10 月から 1 月まで行っている講座。10 大学の大学院生 2 名ずつ合計 20 名程度を対象として、最新の国際問題を取り上げます。

国連大学学術専門職員、国連機関の職員、関連分野の専門実務家、大学教授など、当該分野の最高レベルの講師が講義を担当。講座を修了した学生は、所属大学の修了単位として認められます。

■ 鳥瞰型環境学サマースクール

環境関連を研究テーマとしている大学院生約 20 名を対象として、毎年 8 月下旬から 9 月上旬に行われる講座。

環境学専門の教授による 2 週間の集中講義とグループ演習を行うエキスパート養成スクールで、参加者同士で高いレベルの知識を交換し、環境研究の理解を深める場となっています。

【お問い合わせ】



国連大学協力会

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前 5-53-70

TEL:03-5467-1368 FAX:03-5467-1349

URL <http://www.jfunu.jp/> E-mail jf@unu.hq.edu